

【業績を証明する資料の必要項目と注意事項について】

★必ず熟読のうえ作成してください。

※ 必要項目の内容が全て含まれるように資料をご準備ください。

※ 所属専攻の指示により追加資料を求められている場合は、専攻の指示に従ってください。

（電気系三専攻、応用物理学専攻、化学系三専攻は別途指示が出る予定）

※ 評価の対象となるのは、当該課程に在籍し、かつ奨学金を貸与されていた期間中のもののみ（2年生から貸与された場合、1年生の業績は対象外）です。博士前期課程の学生は博士前期課程在籍時の業績、博士後期課程の学生は博士後期課程在籍時の業績です。評価対象外の業績は提出不可ですので、注意してください。

業績の種類	必要項目と注意
学位論文その他の論文	【学位論文】 ・申請者名 ・論文タイトル ・論文内容の概要 ※提出書類例：論文表紙および論文要旨（Abstract） （該当箇所のみでよい。<u>4 ページ以内になるように抜粋する。</u>）★両面印刷 2 枚以内 【その他の研究論文】 ・申請者名（著者名）・論文タイトル ・論文内容の概要 ・学術雑誌等名及び発行日 ※ 必要項目を含め可能な限り4ページ以内になるように抜粋する。 ※ 論文内容の概要が複数ページに渡る場合には、1 ページ目のみ提出。 ※ 提出書類例：論文または掲載雑誌の写し（必要項目抜粋）。必要項目が記載されていない場合、メール文写し等でも可。査読中で発表日が決まっていない場合、査読中である旨分かるメール文等を添付。 【学会での発表】 ・申請者名（発表者名）・題目 ・会議名（学会名） ・主催者名 ・発表日（年月日） ・表彰・受賞等 ※ 必要項目を含め可能な限り4ページ以内になるように抜粋する。 ※ 提出書類例：発表・論文要旨等及び学会プログラム又は学会HP等の写し。評価対象になるか確認するため年月日が確認できるものを必ず提出。口頭発表等で発表・論文要旨がない場合は、発表資料やポスター等を提出。 【論文及び学会での発表により受賞または表彰による機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得】 ・申請者名 ・受賞、表彰内容及び日付 ・奨学金や外部資金の獲得情報（奨学金や外部資金獲得の場合のみ） ※ 必要項目を含め可能な限り4ページ以内になるように抜粋する。 ※ 提出書類例：賞状の写し(本人名、年月日が確認できるもの)、受賞を通知するメール等の写し 【日本学術振興会の特別研究員に採用（内定）、または民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退】 ・申請者名 ・日付 ・特別研究員採用（内定）または競争的資金獲得情報 ※ 必要項目を含め可能な限り4ページ以内になるように抜粋する。 ※ 提出書類例：特別研究員採用（内定）通知書または民間財団等が公募している競争的資金に係る証明書等

業績の種類	必要項目と注意
著書、データベースその他の著作物 (第一号、及び第二号に掲げるものを除く。)	・申請者名（著者名） ・著書、データベース等タイトル ・著書、データベースの概要・発行日 ※ 著書、データベースの概要が複数ページに渡る場合には、最大ページ数(3 ページ)以内で提出。
発明	【特許】 ・申請者名（発明（考案）者名） ・特許に関する項目 ※ 特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分がわかるもの。出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等の記載があるもの。団体での出願の場合は申請者名が確認できるもの。 ※ 必要項目を含め 3 ページ以内になるように抜粋する。
授業科目の成績（全員）	※教務課学生支援係で成績証明書を準備するため提出不要。
研究又は教育に係る補助業務の実績	【TA,RA等】 ・申請者名 ・業務内容及び実績 ・日付 ※ 提出書類例：労働条件通知書又は勤務証明書等の写し（本人名、勤務期間等が確認できるもの） ※ 同じ職種（例えばTA）を複数回行った場合は、一期間の労働条件通知書等を 1 部提出すればよい。複教科目のTA等を行った場合も 1 科目の労働条件通知書等を 1 部提出すればよい。ただし、都市・建築学専攻と土木工学専攻、技術社会システム専攻の学生は、同じ職種（TA等）を複数回行った場合、一つの業績として申請するが、複数のTA等を行ったことが分かるように全ての労働条件通知書等の写しを提出すること。 ※ 労働条件通知書等を紛失した場合は、所属の専攻事務室に発行依頼をすること。 ※ 必要項目を含め可能な限り 3 ページ以内になるように抜粋する。
音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	・申請者名 ・発表会名 ・日付 ・成績 ※ 専攻分野に関連した業績であること。 ※ 必要項目を含め 3 ページ以内になるように抜粋する。
スポーツの競技会における成績	・申請者名 ・競技会名 ・日付 ・成績 ※ 専攻分野に関連した業績であること。 ※ 必要項目を含め 3 ページ以内になるように抜粋する。
ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	・申請者名・活動内容及び実績・日付 ※ 申請者が参加されたことの確認が取れない資料（写真や新聞記事など）は不備となるので申請者本人が参加されたことが分かる資料（参加者名簿など）を提出。 ※ 活動内容及び実績が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3 ページ）以内で提出する。